

社協だより

平成29年12月1日

第175号

編集

社会福祉法人

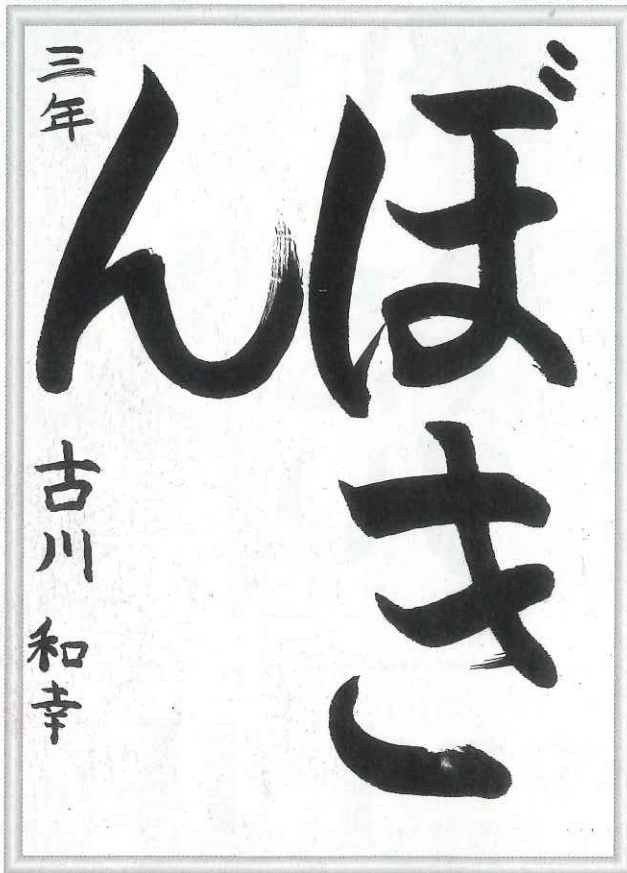
江南市社会福祉協議会

江南市古知野町宮裏121番地

(老人福祉センター内)

TEL・FAX(0587)55-5262

第69回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール優秀作品紹介



愛知県共同募金会 書道の部
金賞

布袋小3年 古川 和幸 さん



愛知県共同募金会 ポスターの部
NHK厚生文化事業団中部支局賞

古知野西小4年 青木 祥太 さん

おもな内容

- 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール優秀作品 2・3ページ
- リレーインタビュー「ボランティア×ボランティア」... 4ページ
- 特集しゃきょう君がめぐる ～2017年 子ども福祉塾 編～... 5ページ
- 民生委員・児童委員の活動に迫る 6ページ
- 社協掲示板 7ページ
- 社協活動報告、福祉クイズ、寄付お礼 8ページ

今年度も市内の小中学生の「たすけあいの心の育成」を目的に、第69回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクールを実施しました。

ポスター1,423点、書道1,458点の応募をいただき、その中からポスター48点、書道45点が入選しました。

ポスターの部からは、NHK厚生文化事業団中部支局賞を古知野西小学校4年の青木祥太さんが、書道の部からは、金賞を布袋小学校3年の古川和幸さんが受賞されました。

入賞おめでとうございます。

他の優秀作品については、2・3ページに掲載してまいりますので、ぜひご覧ください。

生徒作品コンクール優秀作品

愛知県共同募金会
入選作品受賞者

江南市共同募金委員会
入選作品受賞者

書道の部

【銀賞】

滝 唯月さん(布袋北小5年)



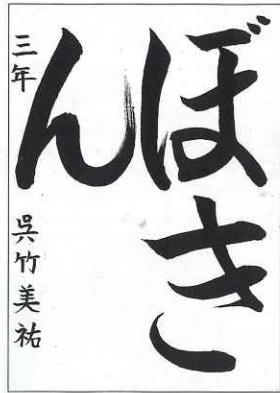
【佳作】

武馬 百花さん(古知野西小5年)



【佳作】

呉竹 美祐さん(古知野南小3年)



【佳作】

吉田 愛乃さん(宮田中1年)



【佳作】

倉橋 詩織さん(北部中3年)



【佳作】

大森 すすさん(西部中3年)



書道の部

【会長賞】

中西 悠菜さん(古知野中1年)

江口 遼河さん(布袋中2年)

【優秀賞】

亀谷 有香さん(古知野東小4年)

中村 紗依さん(古知野南小5年)

松岡 優奈さん(古知野北小5年)

小島 真央さん(宮田小5年)

林本 華怜さん(草井小6年)

舟根 叶侑さん(門弟山小5年)

【入選】

渡邊 真羽さん(古知野東小4年)

佐藤 優姫さん(古知野東小5年)

尾関 佐希乃さん(古知野西小5年)

尾関 衣毬さん(古知野西小6年)

南條 碩介さん(古知野南小4年)

南條 佑太さん(古知野南小6年)

松田 明花音さん(古知野北小6年)

加藤 紗絵さん(古知野北小6年)

花井 美月さん(布袋小4年)

久保田 実央さん(布袋小5年)

亀山 ゆかりさん(布袋北小3年)

小出 芽以さん(布袋北小6年)

出口 結夏さん(宮田小3年)

富井 あかりさん(宮田小5年)

高野 淳さん(藤里小5年)

三宮 そなさん(藤里小6年)

皆川 輝太さん(草井小4年)

早川 美咲さん(草井小4年)

井上 理名さん(門弟山小3年)

鈴木 優桜さん(門弟山小6年)

中内 美京さん(古知野中2年)

渡邊 真帆さん(古知野中2年)

永田 花恋さん(布袋中3年)

大原 楓波さん(布袋中3年)

酒向 ひらりさん(宮田中2年)

野々垣 蓮さん(宮田中3年)

前田 福良さん(北部中1年)

林本 晶帆さん(北部中2年)

大森 佑次朗さん(西部中1年)

長谷川 啓太さん(西部中2年)

作品コンクール 優秀作品の展示のご案内

現在、江南市老人福祉センターロビーにおいて、作品コンクール優秀作品の展示を行っています。素晴らしい作品をぜひご覧ください。

展示期間 12月14日(木)まで

展示場所 江南市老人福祉センターロビー

第69回 赤い羽根協賛児童

ポスターの部

【佳作】

吉川 聡太さん(古知野南小2年)



【佳作】

鷺見汐えりさん(宮田小1年)



【佳作】

前田 麻有さん(布袋中3年)



【佳作】

杉本 颯愛さん(布袋小6年)



【佳作】

渡邊 真帆さん(古知野中2年)



【佳作】

車戸 美月さん(滝中1年)



ポスターの部

【会長賞】

森田 景さん(古知野東小4年)
入江 栞央さん(西部中2年)

【優秀賞】

三輪 涼子さん(古知野北小4年)
服部 優希さん(布袋北小1年)
石田 彩貴さん(藤里小5年)
西尾 一希さん(草井小6年)
福岡 秀太さん(門弟山小4年)
今井 結月さん(宮田中2年)
石原 綾香さん(北部中1年)

【入選】

安田 天斗さん(布袋小5年)
石渡 大翔さん(布袋北小5年)
田中実理愛さん(布袋北小5年)
鷺見剣太郎さん(宮田小1年)
上田 梓さん(宮田小2年)
高田 菜帆さん(宮田小4年)
内田 琴柰さん(藤里小4年)
天野 寧々さん(草井小2年)
長谷 咲良さん(草井小6年)
福岡 未羽さん(門弟山小1年)
近藤 莉乃さん(古知野中1年)
平松 彩花さん(古知野中3年)
久米 慧さん(古知野中3年)
石黒 おとさん(布袋中1年)
森田 柚南さん(布袋中1年)
森 りつ子さん(宮田中3年)
栗木 若杏さん(北部中3年)
大島 櫛之助さん(北部中3年)
一柳 采弥香さん(西部中1年)
岸 真那さん(西部中2年)
菊川 なずなさん(滝中3年)
田口 俊さん(滝中3年)

【入選】

若山 心咲さん(古知野東小1年)
青山 紗愛さん(古知野東小3年)
河田 伊吹さん(古知野西小3年)
宮崎 広太さん(古知野西小4年)
西口 明季さん(古知野南小1年)
山本修太朗さん(古知野南小3年)
三輪 愛子さん(古知野北小1年)
中島 もも子さん(古知野北小5年)
山森 友暉さん(布袋小1年)
粥川 莉音さん(布袋小3年)

おめでとうおめでとう



江南レクリエーションキャンプカウンセラー協会(KRCCA)×手話サークル あげぼの会

(秋山さん、伊藤さん、田中さん)

(安藤さん・工藤さん/聞こえない人
木本さん、清水さん、恒川さん)

ボランティア団体同士が聞き手、語り手となりインタビューをして本音を語ってもらい、ボランティアを身近に感じていただくための企画です。さて、今回はどんなお話が聞けるのでしょうか。

今回の語り手…手話サークル あげぼの会

手話がまだ社会に広まっていない 1980 年に「手話を広めたい」「聞こえない障がいを理解してほしい」と聞こえない人が中心となりあげぼの会を設立しました。今では、手話が社会に浸透してきていますが、もっとより多くの方が手話で会話してほしいです。“手話やってみよう”大歓迎です!

例会日時 毎週土曜日 19時～21時 例会場所 老人福祉センター

Q ボランティアをはじめたきっかけはなんですか?

清水さん きっかけは、小学5年生の時に参加したキャンプですね。その時に出会ったボランティアスタッフの大学生のお兄さん・お姉さんがかっこよくて、自分もあんな風になりたいと思い、KRCCAさんのようなキャンプの指導などの活動をしていました。その縁で出会った手話サークル代表の方の手話で会話をする姿がかっこよく見えて、自分も出来るようになれば女性にモテるかも!?と思って手話を始めました。今思えば、始めたきっかけは不純でしたね(笑)。

Q 活動内容を教えてください?

工藤さん 毎週土曜日の夜に聞こえない人と聞こえる人と合同で手話の勉強をしています。初級と中級以上の二つに分かれ、それぞれのレベルに応じた勉強を行います。社協主催の福祉実践教室では、講師として参加し、子どもたちに手話を教えています。

安藤さん 私は聞こえないので、手に入る情報が少なく、新聞を読んでも理解することが難しいことがあります。そういう部分を聞こえる人から手話で教えてもらうことで、情報を補えるので助かります。反対に、手話が分からないときに、私から教えることもあります。お互いに成長しあえることがあげぼの会の良いところだと思います。

～ボランティアの役割～

清水さん ボランティアは活動することで、社会に還元する役割を持っていると考えています。例えば手話サークルであれば、手話ができる人や手話通訳者を志す人が増えることによって、さらに手話が出来ることが増えたり、聞こえない人の生活がしやすくなったりすることが挙げられます。今ではどこの市町村でも手話通訳者が設置されていますが、それは最初からではなく、当事者とボランティアと一緒に活動し、またボランティアが声なき声を代弁してきた結果だと思います。

おばあちゃんになっても続けたいと思うくらい、手話は大切なもの

Q あなたにとってボランティアとはなんですか?

安藤さん 例えばエレベーターに乗りたい時に、両手に荷物を抱えて困っていると、代わりにボタンを押してくれる、そういうちょっとしたこともボランティアなんじゃないかな。手話の場合、ボランティアは手話が十分に使えなくてもいいと思います。例えば私がコーヒーを注文しようとしても店員に伝わらない時に、手話や表情で推測して助けてくれるなど、聞こえない人が困っていることや伝えたいことを理解して、意思疎通ができる人をボランティアと言うのかな、と思います。意思疎通の手段の一つとして手話があるのではないのでしょうか。

～将来は手話通訳者になりたい!～

木本さん 手話サークルに入るまで、聞こえない事についてよく分かっていませんでしたが、手話を学んで交流を重ねることで、聞こえない人が感じる困り事などが、少しずつ分かるようになってきたと感じています。少しでも自分が役に立てたら嬉しい気持ちになります。今ではおばあちゃんになっても続けたいと思うくらい、手話は大切なもので、将来的には手話通訳者になれたらいいなと思っています。

恒川さん 私も手話通訳者になるという目標があり、あげぼの会はそのための実践の場だと捉えています。手話は口語に比べて、表現や表情などの情報も伝える上で重要な要素の一つであるなど、独特の難しさがあります。聞こえない人が伝えたいことを、その人の人柄も含めて伝えていきたいと考えています。

～江南レクリエーションキャンプカウンセラー協会(KRCCA)から一言～

私たち子どもたちに伝える活動をしています。どの年齢の子にも分かりやすく、楽しんでもらえる内容を考えることが難しいですね。でも、楽しんでもらった時の感激はひとしおなので、悩みながらもそこが活動の面白いところでね。

～おわり～

次回予告… **聞き手** 手話サークル あげぼの会 × **語り手** 運転ボランティア 乞うご期待!